

# 中小企業の人材確保に向けた魅力発信について

## 現状・課題

- 中小企業の魅力が地元の子供たちや保護者に十分知られていない。
- 新卒者の多くが、知名度の高い大企業や公務員へ就職志向。
- 若者が地元の中小企業に就職せず、中小企業の人材不足につながっている。

## これまでの研究会での意見

### 【発信する内容】

- 人材が不足している中小企業は、自社の魅力を求職者にアピールできていない。
- 学校の子供たちの職場体験の受入こそ中小企業の出番。地域の方にその姿勢をアピールし、存在を伝えるとともに、企業も自社の価値に気付く良い機会。
- 小中学生に中小企業の魅力を伝えるため、長期的な視野に立った発信が必要。

### 【発信する方法】

- 学生は、よくyou tubeを見るので、動画による情報発信は有効。
- SNSのうちLINEユーザー数は圧倒的に多い。流行を踏まえた発信方法を検討。
- 情報があふれている中、誰に、何を、どのように、伝えていくかが重要。
- 県トップページや他支援機関・市町村等サイトから誘導し、アクセス増を図るべき。
- 技術者確保のためには、大学や高専、工業高校、商業高校、職業訓練校等を通じて中小企業の技術や魅力を学生に伝えていくことが有効。

## 【参考】中小企業の魅力(第5次ちば中小企業元気戦略や研究会での意見から)

### 事業内容が魅力的な企業

- ・地域に密着したサービスを提供し、住民の生活を支えている
- ・ものづくり分野で高度な技術を有する など

### 活力ある企業

- ・活き活きと働く若い社員が多い
- ・多様な人材が活躍できるような雇用環境づくりに取り組む など

### 意欲的な企業

- ・革新的なベンチャー
- ・社会・経済環境の変化に対応し、経営革新等に取り組む
- ・職場体験や企業見学を積極的に受け入れる
- ・カーボンニュートラルの実現やSDGs経営に取り組む

中小企業がこれらの現状を踏まえ

### 中小企業の対応策

- 自社の**魅力**や**強み**は何かを分析するとともに、それらをさらに高めるためには、どのような取組が必要かを検討する。
- 採用したい若者に対して、自社の魅力を最大限 PR するにはどのような**発信方法**が効果的か検討する。

課題を抱える中小企業を支援するために

### 県の主な支援策

#### 【魅力や強みの分析・強化支援】

- 自社の魅力や強みの分析や効果的な発信方法などについて、**チャレンジ企業支援センター**における**相談対応**や**専門家派遣**により総合的に支援
- それらの取組の即戦力となる外部人材の活用を**プロフェッショナル人材戦略拠点**で支援

#### 【採用力・魅力発信力の向上に向けた支援】

- 企業の採用担当者等を対象に、**人材採用**、**定着**、**情報発信**に係る**セミナー**を開催し、採用力・魅力発信力の向上を支援
- 県内企業が学生等に対して**魅力発信**を行う機会の提供

#### 【教育機関との連携や若者との交流】

- 出前講座やインターンシップ・社会科見学の受入、県・市町村のキャリア教育事業への協力等の教育分野における**社会貢献**(教育 CSR)に取り組む企業について、「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」に登録してもらい、紹介
- 企業と若者の**交流イベント**や**職場見学**を実施



高校生に向けた県内企業の魅力発表会



採用担当者向けセミナー